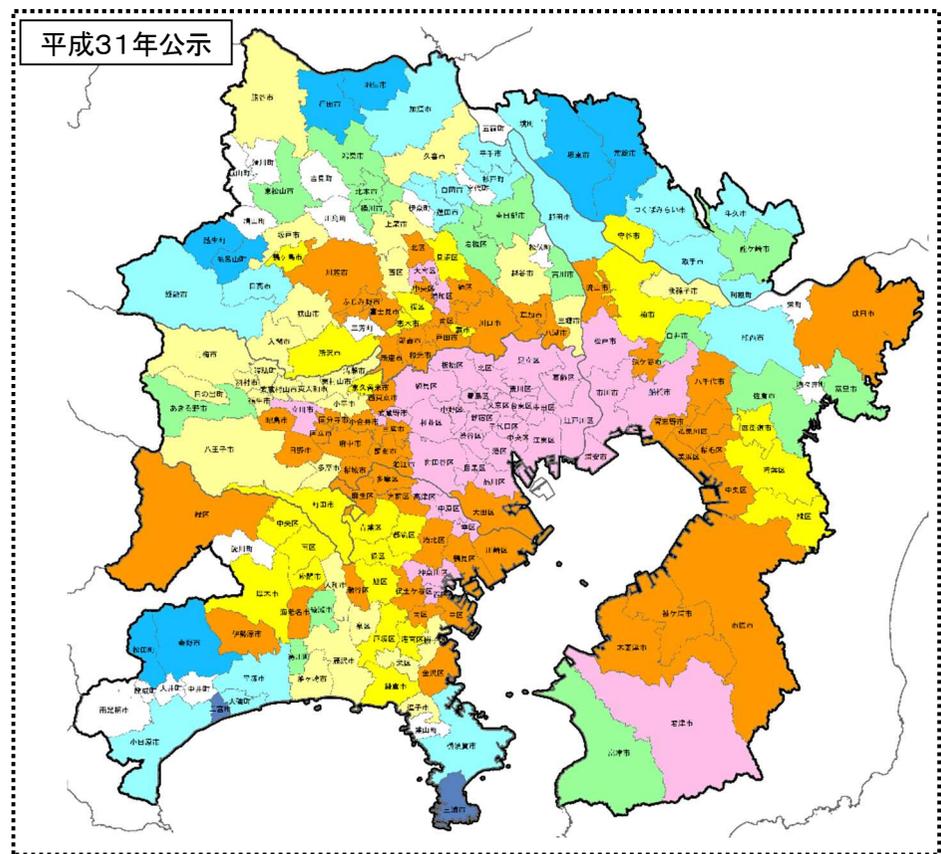
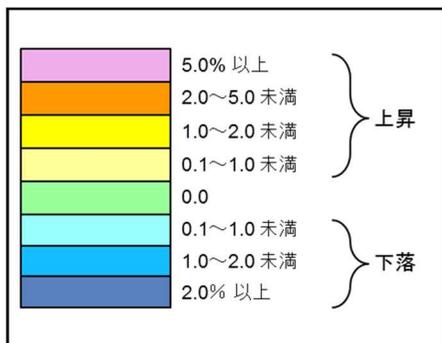


## 東京圏の商業地

※（ ）は前年変動率

<p>埼玉 県</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ さいたま市では、5.0%上昇(4.0%上昇)。横ばいが続く岩槻区を除く全ての区で上昇が続いており、多くの区で上昇幅が昨年より拡大した。</li> <li>・ 再開発事業が進展し更なる繁華性の向上が期待される大宮駅や浦和駅周辺での店舗・オフィス・ホテル需要、周辺整備が進む武蔵浦和駅周辺での店舗等の需要を背景に、大宮区、浦和区及び南区での上昇が顕著である。</li> <li>○ さいたま市周辺及び東京都に隣接・近接する地域では、上昇が続いており、川口市、戸田市、蕨市などで上昇幅が昨年より拡大した。</li> <li>○ 東京圏外周部では、下落が続いている市町が見られるが、下落幅が昨年より縮小した市町も見られる。</li> </ul>	<p>東 京 都</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上昇幅が大きい順に、台東区 14.9%上昇(11.0%上昇)、北区 10.4%上昇(9.0%上昇)、港区 10.1%上昇(8.8%上昇)、荒川区 10.1%上昇(9.4%上昇)、豊島区 9.9%上昇(8.9%上昇)となっており、顕著な上昇を示す区が、都心区から区部北東部など周辺の区に拡大している。</li> <li>・ 特に、台東区では、外国人観光客が増加する浅草地区を中心に、店舗・ホテル需要が旺盛である。</li> <li>○ 多摩地域では、横ばいが続くあきる野市を除き、全ての市町で上昇が続いている。</li> <li>・ 武蔵野市では繁華性が高い吉祥寺駅周辺の店舗需要、小金井市では武蔵小金井駅周辺の店舗需要に加えマンション需要も堅調であり、上昇が顕著である。</li> </ul>
<p>千 葉 県</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 千葉市では、4.1%上昇(3.0%上昇)。全ての区で上昇が続いており、上昇幅が昨年より拡大した。</li> <li>・ 千葉駅周辺の再開発が進展する中央区などでの上昇が顕著である。</li> <li>○ 東京都に隣接・近接する地域及び横ばいが続く富津市を除く房総地域では、上昇が続いている。</li> <li>・ 市川市では再開発が進む JR 本八幡駅周辺での店舗需要等、浦安市では新浦安駅周辺でのホテル用地需要等が堅調であり、上昇が顕著である。</li> <li>○ 東京圏外周部では、野田市及び印西市を除き、上昇又は横ばいとなっている。</li> </ul>	<p>神 奈 川 県</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 横浜市では、3.5%上昇(3.2%上昇)。全ての区で上昇が続いており、半数の区で上昇幅が昨年より拡大した。</li> <li>・ 再開発が進展する横浜駅周辺やみなとみらい地区でオフィス・店舗等の需要が堅調であり、西区及び神奈川県区での上昇が顕著である。</li> <li>○ 川崎市では、5.1%上昇(4.8%上昇)。全ての区で上昇が続いており、中原区を除き上昇幅が昨年より拡大した。</li> <li>○ 相模原市では、2.5%上昇(2.2%上昇)。全ての区で上昇が続いており、上昇幅が昨年より拡大した。</li> <li>○ 西部及び横須賀三浦地域では、下落が続いている市町が多く見られるが、松田町を除き、下落幅が昨年より縮小した。</li> </ul>
<p>東 京 都</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 23 区全体では、8.5%上昇(7.9%上昇)。全ての区で上昇が続いており、多くの区(15 区)で上昇幅が昨年より拡大した。</li> </ul>	<p>茨 城 県</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 守谷市では、つくばエクスプレスの守谷駅周辺や幹線道路沿いの店舗需要が堅調であり、上昇が続いている。</li> </ul>

# 市区町村別の状況（東京圏・商業地）



※圏域内の白色部分は、継続地点が設置されていない市区町村である。